

市民活動状況
(1月末日現在)

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	151 団体
当センター登録会員数	6,466人
来館者数	957人
印刷機利用枚数	5969枚

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



市民団体活動紹介シリーズ No.18「比較住宅都市研究会」

目指せ！市民活動日本一

「比較住宅都市研究会(海老塚良吉代表)」は、まちづくり活動で活躍する市民活動団体。

東京で1984年より日本、先進国、開発途上国について住宅・都市政策などについての研究会活動を展開しています。

2014年に訪れた龍ヶ崎の中心市街地の活性化のシンポジウムで偶然に大学の先輩と遭遇し、板橋の農家民宿半兵衛や八代の竹林整備の活動を応援することになり、中心市街地の空きアパートで民泊事業などを3年前よりbookingcomで経営して、森田屋旅館の集客も運営しています。

八代地区の古民家再生事業も1年前より手掛けて、女性向けのシェア住宅事業を地元の女性事業者を支援して開始しています。

中心市街地の活性化や空き家活用、伝統的建築物をどのように活用するのかなどこれまで10回近くの研究会を市民活動センターなどと共催して、龍ヶ崎市の地域再生の取り組みについて、理論的、実践的な活動に取り組んでいます。

<http://home.g08.itscom.net/ebizuka>



「龍ヶ崎の魅力発見 るみちゃん散歩 プレイバック」2月5日(日)開催

るみちゃんこと石上瑠美子さんを松戸市より市民活動センターにお招きし、1時間30分たっぷりとお話しをしていただきました。

会場は満席。さすが人気者るみちゃん！！

石上さんは2013～2020年の8年間、龍ヶ崎市広報誌「りゅうほー」に龍ヶ崎ふるさと大使として毎月「ぶらり龍・るみちゃんさんぽ」を連載していただき、龍ヶ崎の魅力的なスポットや人物を紹介していただきました。

今回はその当時の思い出を中心に次のようなお話しをしていただきました。外から見た龍ヶ崎がよく分かる内容で、長年龍ヶ崎に住んでいる市民ですら知らないこともたくさんありました。

龍ヶ崎は東京に近い田舎で、自然豊かで食べ物がおいしいこと。

面白かった龍ヶ崎の風習や祭礼について。

龍ヶ崎には美味しいお店がたくさんあること。

取材をしたけど記事に出来なくて申し訳なかったこと。

龍ヶ崎にこんなものがあればいいな・・・と、ユーモアを交えてお話いただきました。8年間にはいろんなことがあり話は尽きないようでした。

「るみちゃん散歩 プレイバック」パートⅡ～Ⅲと続くことを期待しましょう。



講座のお知らせ★市民活動コーディネーター育成講座「地域づくりの担い手を増やす-もりや市民大学の実践を通して-」

守谷市の行ってきた「もりや市民大学」の10年間の歩みを学び、受講生が学んだ知識・経験をその後どのようにまちづくりの実践の場で活かされてきたかについて報告していただく。最後に、龍ヶ崎の地域づくりのための人材育成へのアドバイスをいただく。参加者募集中。

日時: 3月19日(日)13時30分～15時30分 場所: 市民活動センター2階 パソコン室 定員25名

講師: もりや市民大学運営委員会 副委員長 高木 保氏 申込: 市民活動センター ☎0297-63-0030

2月12日(日)「クラウドファンディング経験者と活用検討中の方々との交流会」報告

講師：(株)クラウドファンディングデザイン(代)渡邊ゆりか氏、事例発表：鍵琳製菓社長 瀬尾紗衣子、国際交流シェアハウス代表 齋藤桂南氏、海鮮居酒屋はなの舞佐貴店長 高澤直樹氏

クラウドファンディングを活用する方々を増やすために、市内の経験者との交流を通して制度の理解を深めるねらいで交流会を開催しました。今年は参加者が増えて16名の出席があり、盛り上がりました。

第1部は渡邊ゆりか氏によるクラウドファンディング制度のポイントを説明していただきました。

この制度を始めるには、自分の思いをいかに伝えるかが大事！クラウド会員は260万人いて、キャンプファイヤーのホームページで月に4,000万回見られています。手数料は獲得した資金の17%をキャンプファイヤーに支払います。クラウドは資金集めだけでなく、仲間集めにいいですよ。

第2部は経験者3名による成功事例を報告していただきました。

・鍵琳製菓社長瀬尾紗衣子氏：クラウドの画面制作は筑波大生引き受けてもらったので、大変助かりました。渡邊ゆりかさんから「人に見てもらうためには、毎日、トークしてください。」と言われて、毎日、続けたのが大きかったです。目標額をクリアしたので、クラウド終了後もトークを掲載しています。応援者の7割が市外なので全国から煎餅の注文が来ています。クラウド第3弾もやろうかなと考えています。

・国際交流シェアハウス代表齋藤桂南氏：昨年このクラウド講座に出席し、事例報告を聴いて、勇気をもらい、クラウドを実践しました。返礼品に動物写真家である夫が撮影したミニ写真集を制作したので、集めた資金とかかった経費がとんとんでしたが、クラウドの目的は資金集めではなく、人のつながりを築くことだったので、自分がやろうとしている国際交流を図るシェアハウスの存在を広くアピールできたので、よかったです。クラウド後には、誰かに自分を紹介するときには、「クラウドをやっている齋藤です。」と言ってキャンプファイヤーHPを見せればすぐ伝わるので、助かっています。

・海鮮居酒屋はなの舞佐貴店長高澤直樹氏：コロナでお客さんが減ってしまったので、自分にできることはないかと考えて、クラウドファンディング応援事業を行っている市の企画課を訪ねたところ、大変、親切に最初から教えていただき、渡邊さんの紹介を受けて的確なアドバイスをもらい助かりました。市のフォロー体制がすごいです。クラウドをやろうと思っただけで、後はこのように相談すれば、実現可能です！



りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア サプラ2023 2月18(土)・19(日) 開催



おかげさまで、多くの皆さんに支えられ、「りゅうがさき市民活動フェア in サプラスクエア サプラ2023」を大盛況にて無事終了しました。

龍ヶ崎短歌会

冬晴れに一人残りて祈りたり孫子の無事と世の平安を

服喪中賀状御免のしらせ受け会わぬとしつきとせを過ぎぬ

川庄 久美子

木村 宏